

2 研究の実際 > (2) 授業の実際

カ 検証結果<中学校B>

【検証の視点 I】

生徒が持つ「強み」に着目した交流活動が自己肯定感の高まりにつながったか。

【検証の視点 I - A : 「自分自身に関する自己肯定感」に関する項目】

オ 検証内容と検証方法 について

↑こちらをクリックすると、検証内容と検証方法を見ることができます。

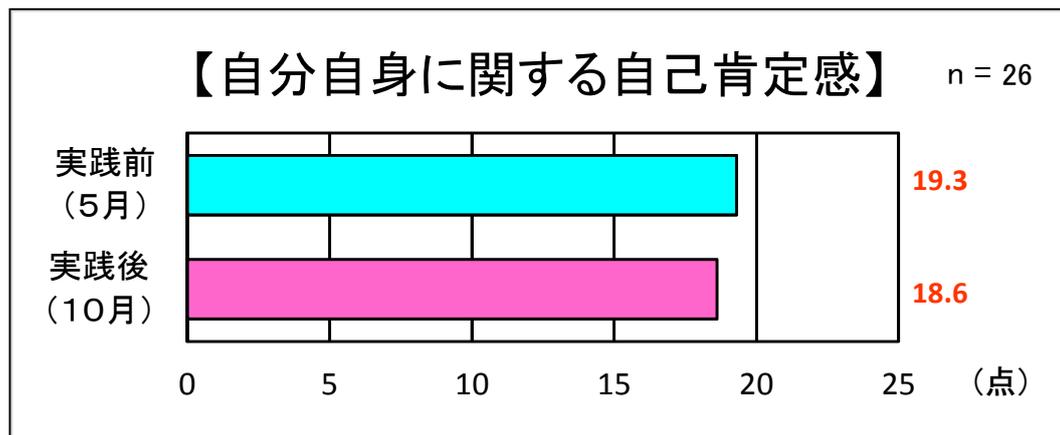


図1 生徒の「自分自身に関する自己肯定感」に関する意識と行動の変化 (全体)

○授業実践の前後で、全体では数値が0.7ポイント下がりました(図1)。項目別でも、「自分には良いところがあると思う」「自分の中には様々な可能性がある」が、それぞれ0.3ポイント下がりました(図2)。これは文部科学省調査「日本の子供たちの自己肯定感が低い現状について」における、思春期に自己肯定感が低下するという結果と同じ傾向だと考えます。しかし、生徒の振り返りシートには、「好きなことは自分の『強み』になると分かった」「今まで気付かなかった自分の『強み』をたくさん発見できた」「自分の『強み』を知ることができた」という記述が多く見られました。これらのことから、生徒が持つ「強み」に着目した交流活動を通して、自分の「強み」に気付くことにより、「自分自身に関する自己肯定感」を高めることができると考えます。

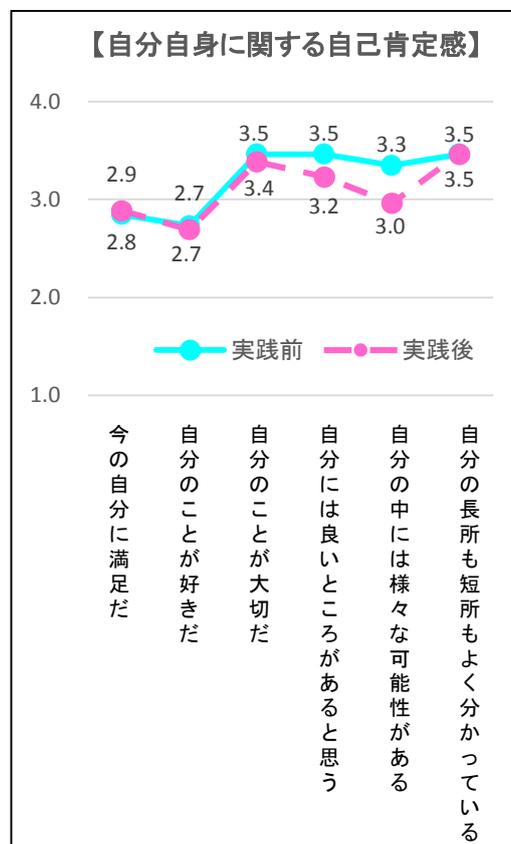


図2 生徒の「自分自身に関する自己肯定感」に関する意識と行動の変化 (項目別)

【検証の視点 I - B : 「友達との関係を通した自己肯定感」に関する項目】

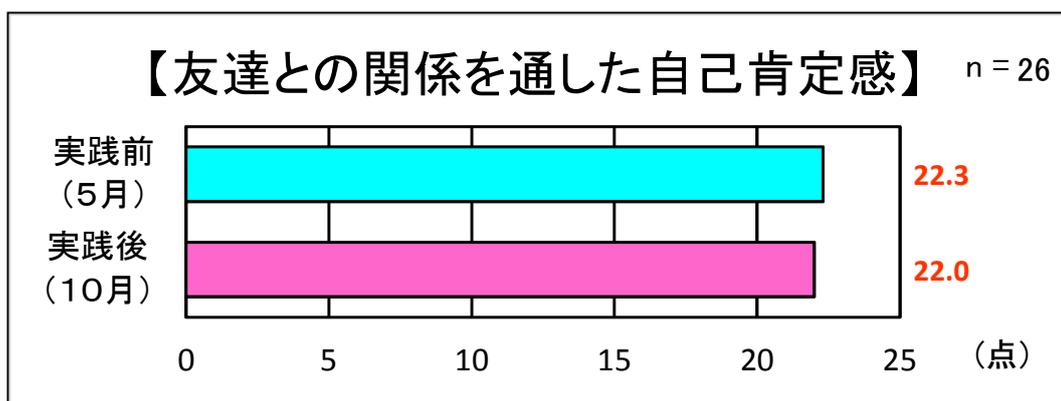


図3 生徒の「友達との関係を通した自己肯定感」に関する意識と行動の変化 (全体)

○授業実践の前後で、全体では数値が0.3ポイント下がりました(図3)。項目別では、「友達から信頼されていると思う」が0.2ポイント下がりました(図4)。中学生になると、自分と他者とを比較したり、他者から自分がどのように思われているかを気にしたりする傾向が見られるため、自己肯定感の低下に影響したと考えます。しかし、生徒の振り返りシートには、「自分の『強み』と友達の『強み』を探るのが楽しかった」「友達から教えてもらった『強み』をもっと生かしていきたい」という記述が多く見られました。これらのことから、今後も生徒が持つ「強み」に着目した交流活動を通して、生徒が自分の「強み」を友達から伝えてもらうことにより、「友達との関係を通した自己肯定感」を高めることができると考えます。

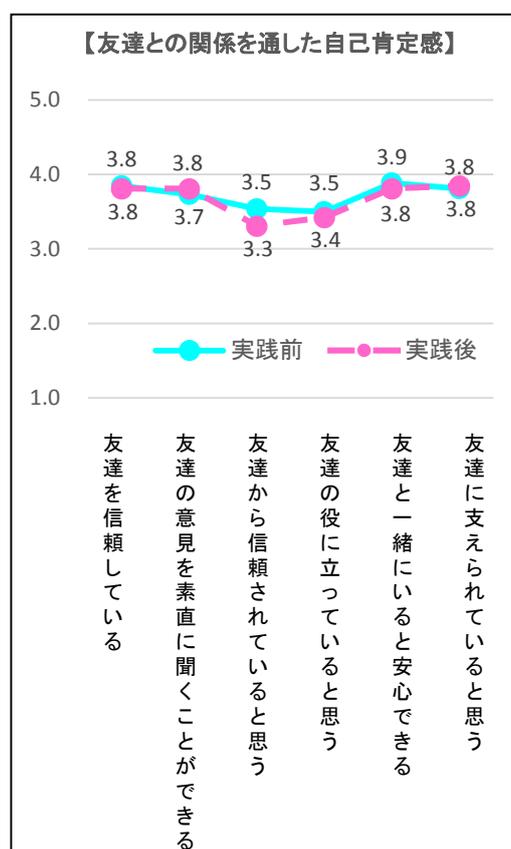


図4 生徒の「友達との関係を通した自己肯定感」に関する意識と行動の変化 (項目別)

【検証の視点Ⅱ】

生徒が持つ「強み」に着目した交流活動が互いに自他のよさを認め合うことのできる人間関係を築くことにつながったか。

【検証の視点Ⅱ－A：学級の雰囲気】

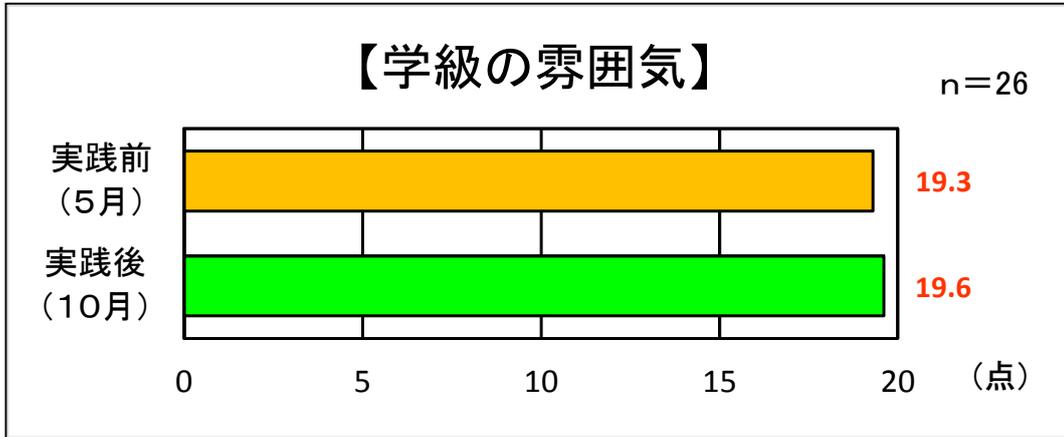


図5 生徒の「学級の雰囲気」に関する意識と行動の変化（全体）

○授業実践の前後で、全体では数値が0.3ポイント上がりました（図5）。項目別では、全ての項目で高い数値でした。特に、「仲がよく話しやすい雰囲気」で0.2ポイント上がりました（図6）。その理由として、生徒は日頃から班活動を基盤とした学校生活を送り、体育大会や文化発表会等の学校行事を通して、生徒同士が互いに交流する場面が多く設けられていることが関係していると考えます。また、生徒の振り返りシートには、「グループでお互いの『強み』について伝え合うことができ良かった」「友達に自分の『強み』を伝えてもらって嬉しかった」「これからも自分の『強み』と友達の「強み」を見付けていきたい」という記述が多く見られました。これらのことから、生徒が持つ「強み」に着目した交流活動を通して、生徒が互いに自他の「強み」を伝え合ったことにより、「学級の雰囲気」が良くなったと考えます。

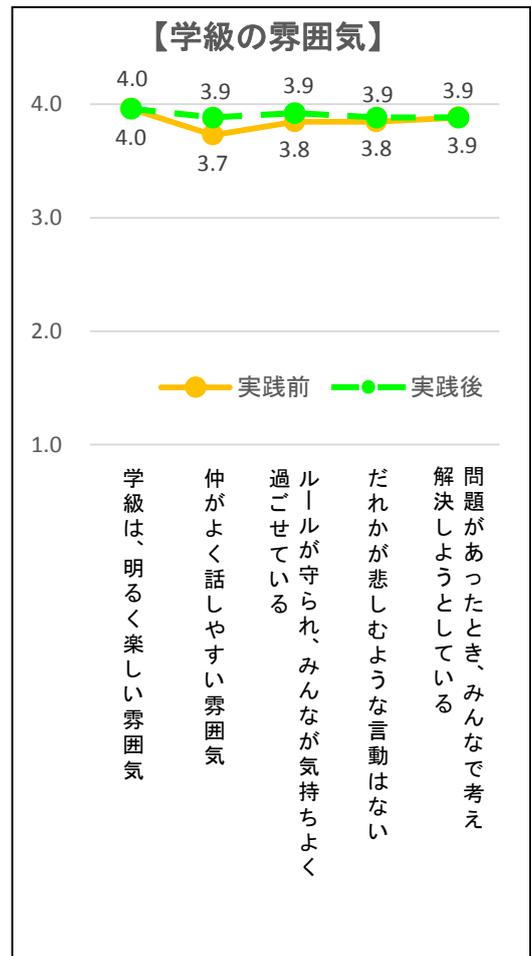


図6 生徒の「学級の雰囲気」に関する意識と行動の変化（項目別）

【検証の視点Ⅱ-B：友達との関係】

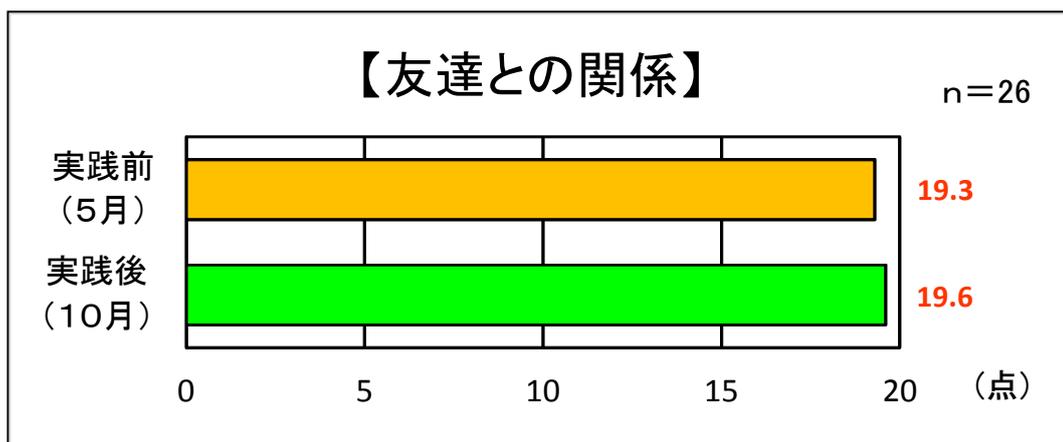


図7 生徒の「友達との関係」に関する意識と行動の変化 (全体)

○授業実践の前後で、全体では数値が0.3ポイント上がりました (図7)。項目別では、全ての項目で高い数値でした。特に、「何でも話せて分かってくれる友だちがいる」「秘密や約束を守ってくれる」の2項目でそれぞれ0.2ポイントずつ上がりました (図8)。また、生徒の振り返りシートには、「友達から『強み』を教えてもらって嬉しかった」「もっと友達の『強み』を見付けていきたい」「友達からのアドバイスを参考にして問題を解決していきたい」という記述が多く見られました。これらのことから、生徒が持つ「強み」に着目した交流活動を通して、生徒が互いに自他の「強み」を伝え合ったことにより、「友達との関係」が良くなったと考えます。

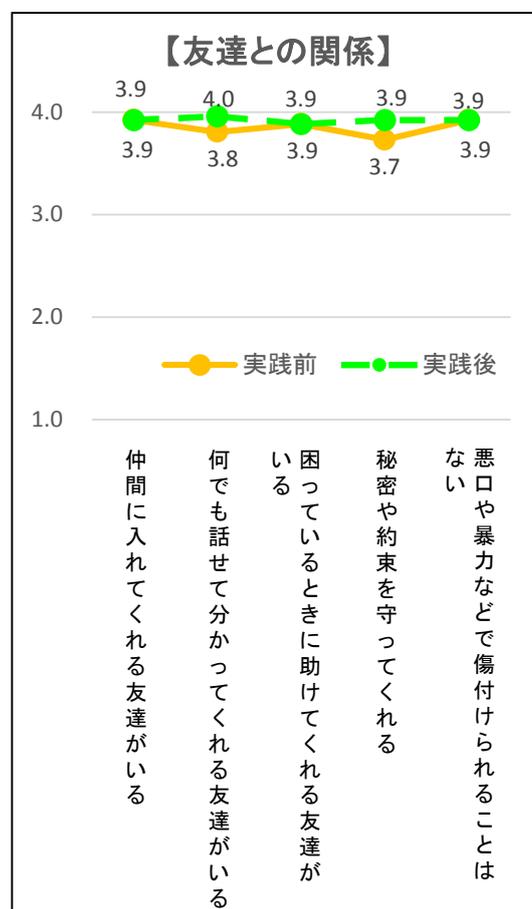


図8 生徒の「友達との関係」に関する意識と行動の変化 (項目別)